

ジャングルのえほん



『みえた!ジャングルのおく』 くもん出版
 キャロン・ブラウン作, アリッサ・ナスナー絵, 小松原 宏子訳
 木の上で子育てするカエルって!? 川にすむイルカがいるの? ジャングルのおくをのぞいてみよう! ページの後ろからライトで照らしたり、ページを光にかざしたりすると絵がうかぶ、ワクワク知識絵本。



『えさのじかんだよ』 小学館 軽部 武宏作
 生き物と食べ物の意味がダイナミックに変わっていく! 男の子が、金魚や犬、カメなどに餌をあげていたら、いつの間にかジャングルに入り込んで…。ちょっぴりこわくて、ドキドキする冒険ファンタジー絵本。



『おどかさないでよ、ガオくん!』 ほるぷ出版
 トマス・テイラーさく, 灰島 かりやく
 トラのガオくんの自慢は、世界でいちばん大きな声を出せること。ガオくんが「ガオー!」と、おどかしてまわるから、ジャングルのみんなはおおよわりで…。大きな声での読み聞かせが楽しい絵本。見返しにイラストあり。



『くいしんぼうシマウマ』 西村書店
 ムウェニエ・ハディシ文, アドリエンヌ・ケナウェイ絵,
 草山 万兎訳
 ずっとずっと昔、サバンナで暮らす動物たちの体は、みんなうすぼけたつまらない色でした。ある日、突然現れたほら穴で素敵な毛皮を見つけ、動物たちは着飾ります。さて、シマウマくんは…? 鮮やかな色彩で綴るケニアの昔話。



『ふんぶんヒグマ』 クレヨンハウス
 ニック・ブランド作, あべ 弘士訳

ライオンとシマウマとヘラジカとヒツジ。うるさくしたから、ほら穴で昼寝をしていたヒグマが怒っちゃった! ヒグマの機嫌を直すために、さてどうする?



『しましまとぼちぼち』 BL出版

ダーロフ・イプカー作, やました はるお訳
 しましまトラの赤ちゃんはしましまの獲物を、ぼちぼちヒョウの赤ちゃんはぼちぼちの獲物を探します。ふたりが探す、すぐに食べられそうなごちそうはどこにあるのでしょうか?



『ワニをつかまえたこぎるのおはなし』 徳間書店
 メイ・ダランソン文, ケルスティ・チャプレ絵,
 ふしみ みさを訳

ジャングルの奥深くに、小さな小さな子ぎるがいました。ある日、ひとりででかけた子ぎるは大きなやしの実を木からとろうとして川へ落ちてしまいました。そこへおおきなワニが…。フランスで50年以上愛されている楽しい絵本。



『あおいちきゅうのいちにち 3 ジャングル』 評論社

エラ・ベイリーさく, せな あいこやく
 わたしたちの美しい地球のいちにちを描くシリーズ。ジャングルをとりあげ、クモザルのぼうやのくらしや、周りの生き物たちを紹介する。見返しにも絵あり。

